

完全有機高吸水性ポリマーの多拠点化及び大規模利用に向けた実証（EF Polymer株式会社）



所在地	創設年	創設者名
沖縄県恩納村	2020年	ナラヤン・ラル・ガルジャール
パートナーVC	直近の資金調達ラウンド	企業価値
株式会社MTG Ventures	シリーズA	非公開

会社連絡先：
tel : 080-6483-9834
Email : kunihiro.shimoji@efpolymer.com

ホームページリンク：<https://efpolymer.jp/>

○事業概要
作物残渣から完全有機・完全生分解性を有する超吸水性ポリマーを製造する技術を活用し、世界中で干ばつに苦しむ生産者を支援し、持続可能な農業の実現を目指す。加えて、環境対応が求められる既存化学ポリマー製造企業及び既存化学ポリマーを一部原料とする製品を開発している企業に対し有機ポリマーを提供・製品の共同開発を行うことで化学ポリマー業界のGX化支援を実施。

○事業内容
本研究開発では、ペクチンを原料に製造する既存の超吸水性ポリマー(EFP)とは異なる国産原料から新たな超吸水性ポリマー(バイオポリマー、BP)の製造を可能にすることで、完全有機・完全生分解性を有する超吸水性ポリマーの多拠点化・資源循環モデル化の実現を図る。また、本研究開発を通して開発を行うBPの普及を見据え、既存EFPのアップグレード・新たな用途の確立に加え、農地での最適な利用法確立に向けた調査・検討を国内外のパートナーとの連携を通して実施する。

事業領域・分野	助成事業年度	交付決定額	海外技術実証
食・農業	PCA 2025～2027年度	811百万円	アメリカ（カリフォルニア州、ジョージア州、ネブラスカ州、テキサス州）、ヨーロッパ（スペイン）、インド（ラジャスタン州）

- 海外技術実証
- 圃場利用におけるEFP効果の精緻な分析
 - a) 土壌物理性・化学性・生物性
 - b) 作物生育
 - 圃場最適量・最適方法のとりまとめ
 - a) 最適量のまとめ（作物毎、土壌タイプ毎）
 - b) 最適方法のまとめ
 - EFPのGHG削減効果確認
 - a) GHG削減効果の検証